

個別事業費	721 千円
交付金額	360 千円

地域の実情と課題

- 当市では、女性の雇用環境の改善に取り組む事業者の認定制度など、様々な産業分野で女性の活躍を推進する地域づくりに取り組んでいる。
- しかしながら、地域の企業では人手不足を感じており、特に理工系分野では専門人材が不足している。
- 市内には高等教育機関や高い技術力を持つ企業が複数あるものの、企業の知名度や認知度が低く、地域で学んだ若い人材の地域外流出が課題である。

事業の特徴

- 中学生や高校生が高い技術力を持って事業展開をしている地域の企業や大学を訪問し、技術開発や生産の現場、研究内容を体験するとともに、従業員や大学生との交流を図った。
- 企業体験ではIT業、環境コンサルティング業、食品製造業、大学研究体験では理工学部、農学生命科学部に協力をいただき、単なる見学にとどまらず、事業の一端を体験することを重視したプログラムとして実施。
- 企業で活躍する従業員や大学生との交流をとおして、中高生が将来の進路について考える機会となった。

事業の効果

- 参加者は39名（女子生徒18名、男子生徒21名）
- 参加した中学生や高校生の事業満足度 100%
- 実際に体験した事業内容や研究内容について興味を持ち、企業の事業内容や大学での研究が、社会問題の解決にどのようにつながっているかなどを知ることによって理解を深め、進路選択の参考としていた。
- 参加企業・大学にとっても、知名度や認知度の向上につながったほか、業務内容や働き方を見直す機会となり、社員の人材育成につながった。

目的・目標

- 進路選択の岐路にある中学生や高校生が、理工系分野をはじめ、地域の中で様々な分野で性別にかかわらず活躍できる将来像をイメージし、若年層の地元定着率を向上させることで、地域の持続的な発展を図る。
- 地域の企業にとって、自社の事業や技術を知ってもらうことで、将来的な人材の確保にもつなげるとともに、地域の大学での研究内容の認知度向上を図る。

◇ 参加者 39名(目標 55名)、事業満足度 100%(目標 100%)

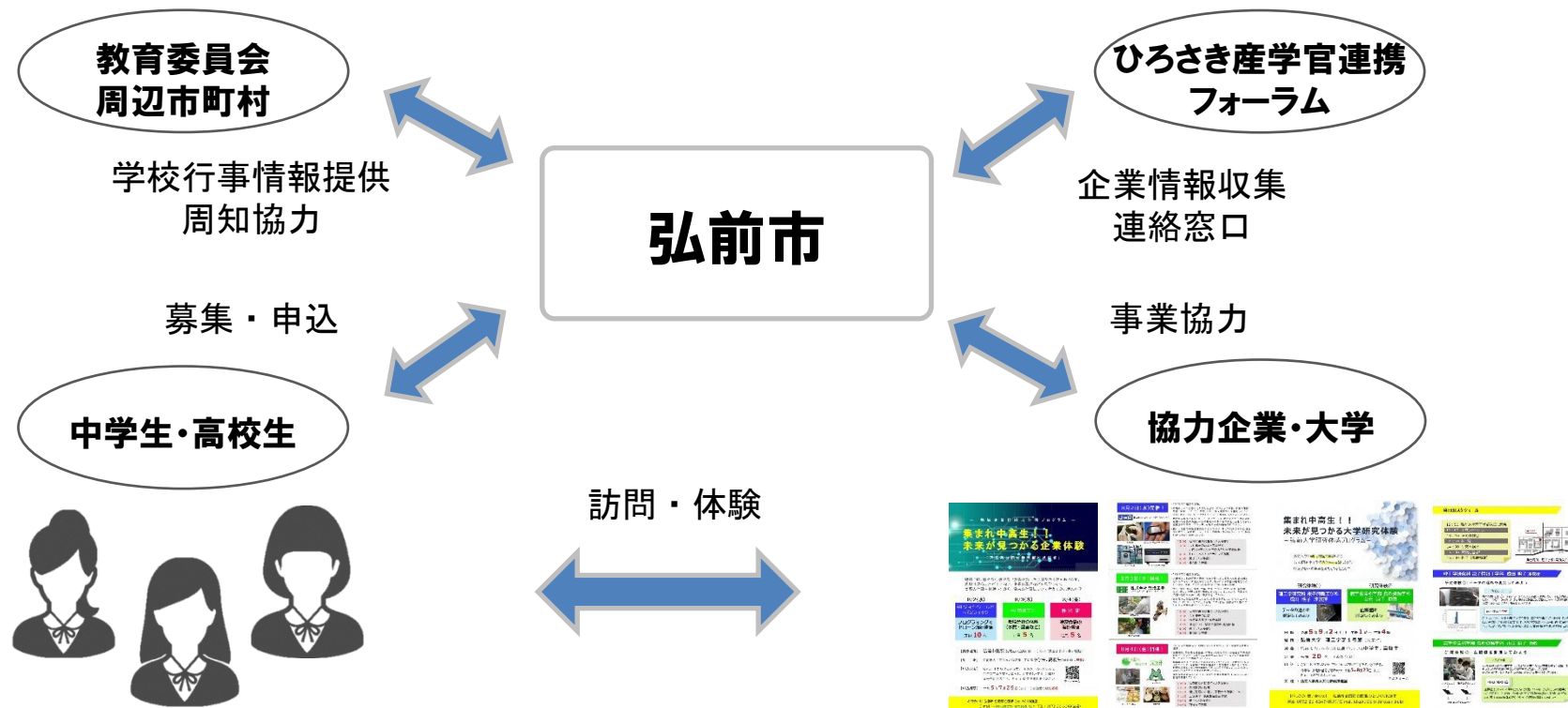
連携団体

- ひろさき産学官連携フォーラム
行政、大学、企業等で構成する連携体であり、受入先となる企業情報の収集や意見交換、企業への連絡等で協力いただいた。
- 教育委員会、周辺市町村
対象となる生徒の募集に当たって、学校行事等の情報提供や学校、公共施設等での周知に協力いただいた。

今後の課題

- 事業内容について、学校や保護者へ理解促進を図る機会の創出
- 参加者がどのような進路を選択したか、またこの事業がどの程度進路選択に影響したかなどについての調査の必要性

事業の概要



- 事業満足度100%
- 理工系分野への興味の高まり

- 知名度、認知度の向上
- 協力企業・大学への好影響



株式会社ジョイワールド パシフィク
プログラミング体験



株式会社環境工学
水質分析体験



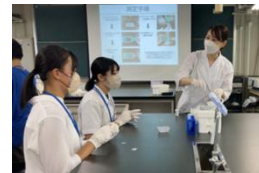
株式会社栄研
冷凍食品製造体験



弘前大学
オリエンテーション



理工学研究科
「への遅れを測定してみよう」



農学生命科学部
「血糖値を測定してみよう」